

ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明

令和8年度 第1回合同地域連携推進会議 議事録

- 1 日時 令和8年9月16日（水）14時00分～15時30分
- 2 場所 篠ノ井施設管理棟2階会議室
- 3 出席者 地域関係者等／寺嶋千広、坂口美代子、馬場宣敏、一之瀬敏秀、
（敬称略） 宮岡敏子、佐藤仁志、清水久美子、立原博之
法人／村上巧、波母山朗、依田元一、横谷吉昭

4 議事

- (1) 地域連携推進会議について（説明 村上）
- (2) 施設の現状・課題等について（説明 村上、依田）
 - ・重要事項説明書
 - ・入所施設一元化の取組
 - ・後援会の在り方検討

(3) 質疑応答

○地域関係者1

100歳以上の方が大変多くなってきており、人生100年時代といわれている。本日、見学させていただき、コロニーの施設で利用者の皆さんが楽しそうにしている姿を拝見した。世の中には、身寄りがないなど何とかならない（解決することが難しい）方も多い。私たち民生委員やケアマネさんとかみんな頑張って何とかならない人が増えていくと思う。そのような中で、この施設が同じ地域にあって頑張っているのは心強い。入所者の入浴が週3日との説明があったが、地域にはお風呂のない方もいるので、空いている時に利用させてもらえればいいなあと思ったところです。この施設は設備も充実しており、これからも利用者のために頑張りたい。

○地域関係者2

入所施設の一元化については、コロニーの状況や時代の流れを考えると仕方の

ない面があるのは理解できる。入所者の立場から、ワークサポートの入所者がハートフルに移ることで入所者が増えてハートフルの支援員の数が足りなくなり、サービス低下につながることを心配している。

○法人

現在ワークサポートに入所している14人がハートフルに移るということなので、佐藤さんのおっしゃる通りである。

今後、業務の見直しと人員配置を考える必要があると認識している。ワークサポートの業務量が減り、ハートフルの業務量が増えるので、ワークサポートの職員をハートフル五明に異動することも考えている。

ただ、ワークサポートは通所施設として運営していくので、職員の多くを異動させることはできない。業務量や状況を踏まえながら検討していきたい。一元化がスタートと考えており、実態を見ながら必要な対応を考えていきたい。ご提案があったら何でも話していただきたい。

○地域関係者 3

私もワークサポートからハートフルへの入所となるが、通所でワークサポートを利用するつもりである。両方に支援が行き届くように職員体制については考えて欲しい。最近ケガをすることが多く健康面での不安もある。障害の程度も重度化している方もいるので、支援する職員の数を増やしていただければありがたい。最近は、身体障害者だけでなく、多様な障害を持っている方が利用しているので、職員も大変なのは理解している。

○法人

皆さんが心配し不安に思っていることは理解している。職員も同じ気持ちである。できるだけ、適切な支援ができるよう努めていく所存である。支援員を増やせば手が行き届きケアも充実すると思うが、人件費が増えることで経営状況に影響が出てしまうことも考えなければならない。

これからも利用者さんの声をお聞きしながら進めていくので、よろしくお願いいたします。

ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明
令和8年度合同地域連携推進会議 構成員名簿

■地域関係者等

(敬称略)

	ワークサポート篠ノ井	ハートフル五明
利用者	寺島 千広 坂口 美代子	佐藤 仁志
利用者家族	馬場 宣敏	(欠席)
地域の関係者	一之瀬 敏秀 (五明区副区長)	一之瀬 敏秀 (五明区副区長)
福祉に知見のある者	宮岡 敏子 (苦情解決第三者委員)	清水 久美子 (苦情解決第三者委員)
長野市担当者	小林 桃子 (欠席) (市障害福祉課)	立原 博之 (市障害福祉課)

■法人（出席職員）

理事長・ワークサポート篠ノ井所長	村上 巧
ハートフル五明所長	波母山 朗
法人本部総務部長	依田 元一
総務部部長	横谷 吉昭